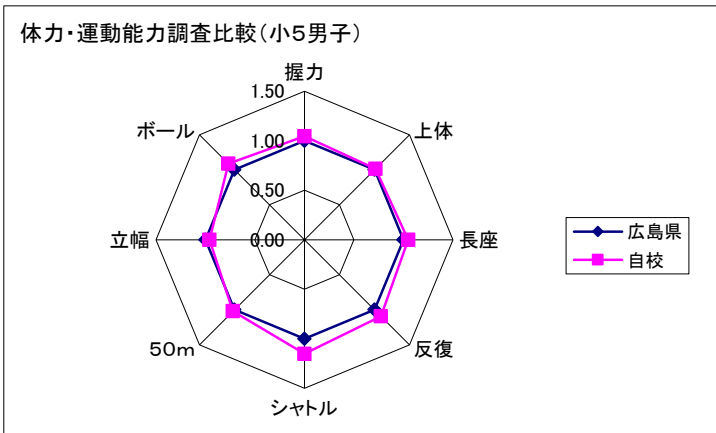
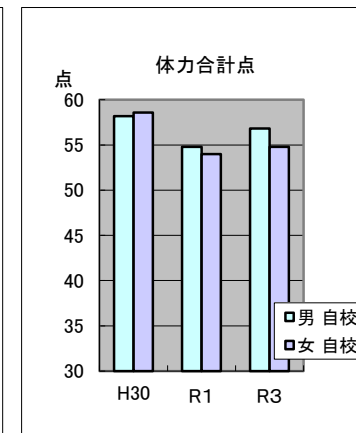
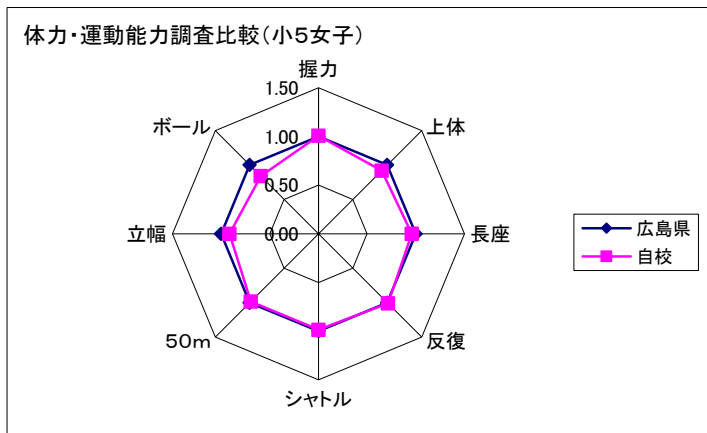


男子の体力合計点 学校56.18点 県平均 55.16点



女子の体力合計点 学校 54.80点 県平均 57.06点



R3体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

① 50m走(呉市の課題種目)  
 ・今年度の県平均を超えた児童の割合は、男子55.0%女子55.2%で昨年度の男子58.2%、女子55.1%を男子は下回り、女子は変化があまり無い状況である。

②ソフトボール投げ(中学校区の課題種目)  
 ・県平均を上回った学年が無く、全体的に低く減少している。特に県平均を達成した割合が5年生女子が16%、6年生女子が25%と高学年女子が大きく下回っている。コロナ禍で外で遊ぶ機会が減ったことや、体育で投げる運動を十分にできなかったことが原因と考えられる。

③長座体前屈(自校の課題種目)  
 ・県平均を上回った児童が、昨年度の44%から今年度47.3%と3%増加した。家庭学習で柔軟体操に取り組んだ成果が表ははじめてるので、継続して行いたい。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 (50m走)	具体的な取組内容 ・「くれ・チャレンジマッチ・スタジアム」のダッシュリレーに全校で積極的に取り組み、記録の伸びを実感させる。 ・委員会の児童を中心に、休憩時間に瞬発力を高める外遊びを紹介する活動を行い、走の運動に取り組む機会を増やす。 ・走の運動を取り入れたサーキット運動を体育の授業の最初に取り入れる。
②中学校区の課題種目 (ソフトボール投げ)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・小中で一貫教育の特色を生かした交流を有効に活用して、中学生が小学生に投球動作を教える機会を設定する。 ・校内研修を行い、投能力向上につながる運動を紹介し、教員全体で共通理解を図る。
③自校の課題種目 (長座体前屈)	具体的な取組内容 ・県平均の数値を意識させ、個人の具体的な目標をもたせて意欲的に取り組ませる。 ・柔軟体操の家庭学習に継続的に取り組み、特に長期休業中などでは、例示したプリントを配布し、家庭と協力しながら運動できる機会を増やす。

※具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)